



王子小 HP→



かがやけ！王子っ子

かんがえる子 かんばる子 やさしい子 けんこうな子

東京都北区立王子小学校

校長 原田 英孝

令和5年9月29日

◆来校の際には、必ず、ネームプレートを着用し、受付をお通りください◆

「考えること」

副校長 西脇 輝久

秋分の日が過ぎ、少しずつひんやりとした秋気が感じられる季節となりました。

先日、道徳授業地区公開講座にて元帝京大学教授、飯島英世先生にご講演いただきました。教職員対象の講演では「(道徳の時間を通して)子どもが常に自己の生き方を見つめながら、みんなで多様な視点から話し合い、語り合うことを通して自己のよりよい生き方を考えていくことを重視していくことが大切です」とのご示唆をいただきました。今回の道徳地区公開講座を通してあらためて「考えること」について、私たち教職員も学びが深まったように思います。

「考えること」といえば「読書」。秋は、読書をするのに適した季節です。王子小学校では、図書の日や朝の読書タイム、また、読書ボランティアの方による読み聞かせや、北区お話の会の方による「おはなし会」等、読書に親しむ機会を作っています。「考える力」も「読む力」も「読書」によるところが大きいです。本を読む子は、やはり心も豊かな気がします。お子さんに読後の感想を聞いたり、ときにはお子さんと同じ本を読んで感想を語り合ったりして、お子さんの読書への関心や意欲をより一層深めていけるようにするのもよいと思います。運動が身体を健康を支えるように、読書は心の健康によい習慣の一つです。多くの本と出会い、新しい自分を発見できるとよいですね。そして、心豊かな「王子っ子」であってほしいと願います。

*王子桜中・王子小校庭の人工芝がリニューアルしました。児童に感想を聞いたところ、「気持ちいい」「走りやすい」「きれいになったのでうれしい」と、笑顔で答えてくれました。

10月の行事予定(9月29日 現在)

2日(月)	全校朝会 避難訓練 読書月間始	17日(火)	生活科見学(1)
3日(火)	積立集金日(5・6年) 生活科見学(2年)	18日(水)	集会 フォローアップ教室
4日(水)	集会 フォローアップ教室	19日(木)	就学時健康診断(午後) 3時間授業 給食あり
5日(木)	委員会⑥ 王子学級給食後下校 巡回おうじ1学期指導終了	20日(金)	図書ボランティア読み聞かせ
6日(金)	終業式 5時間授業	23日(月)	安全指導・安全確認デー
10日(火)	ことばときこえ教室1学期指導終 始業式 午前授業	24日(火)	生活科見学(2) 予備日
11日(水)	ことばときこえ教室2学期指導始 フォローアップ教室	25日(水)	音楽朝会 フォローアップ教室
12日(木)	クラブ⑤ なかよし班活動	26日(木)	視力検査(1)
13日(金)	巡回おうじ2学期指導開始 5時間授業	27日(金)	視力検査(2)
14日(土)	土曜授業⑥	30日(月)	読書月間終 視力検査(3・5)
		31日(火)	視力検査(4・6) 生活科見学(1) 予備日

スクールコンサート

9月22日（金）、レ・プティットさんをお迎えし、低学年と高学年の2部制でスクールコンサートを実施しました。ソプラノ・テノール・バリトン、3つの声の種類を紹介からコンサートが始まり、二重唱などを経て、後半には音楽劇（オペラ）が行われました。声の種類を紹介では、ソプラノの高くなめらかな声からバリトンの低く渋い声をそれぞれ聴き、プロの声の美しさと音域の広さに驚いた様子でした。中盤には、フニクリフニクラ（男性二重唱）に合わせて手拍子をし、児童も演奏に参加しました。曲の抑揚に合わせて上手に強弱をつけて手拍子することができました。後半には、「あまんじゃくとうりこひめ」という日本昔話をオペラにした作品を鑑賞しました。うりこひめ、あまんじゃく、殿様、殿様の付き人、それぞれが役に扮した格好で登場、また本校の校長と副校長も「じっさ役」と「ばっさ役」として出演し、児童は大盛り上がりでした。演劇、文学、音楽という普段なかなか触れることのないジャンルの芸術に触れ、終演後の子供たちの瞳がきらきら輝いていました。50分という短い時間でしたが、充実した時間になったようです。



道徳授業地区公開講座

9月9日の土曜授業日には、道徳授業地区公開講座が行われました。元帝京大学教育学部教授・元全国小学校道徳教育研究会会長の飯島英世先生をお招きし、各学級で道徳の授業を行いました。

今年度の道徳授業地区公開講座の授業のテーマは、「友達の考えと交流することを通して、自分の学びを深める」とし、「主体的・対話的で深い学び」「考え、議論する道徳」を目指した授業展開を考えて行いました。

今年は、保護者の方向けの講演会も数年ぶりに実施することができました。たくさんの保護者の方へ出席していただき、熱心に講演に耳を傾ける保護者の方々の姿から、関心の高さを感じました。飯島先生には、道徳が「特別の教科道徳」として新設された背景や道徳科の授業で育てたい力などお話しいただきました。また、家庭教育で大切なことは、「待つ・聞く・受けとめる」ことであるとおっしゃっていました。このことは、学校教育でも大切なことです。ご家庭・地域と連携して、子供たちの教育に努めてまいります。今後どうぞよろしくお願いいたします。

